地域ケア推進会議　報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2022年12月28日
作成 高齢者支援センター	南第2
作成者	岡根浩太郎

1.開催日時	2022年12月16日	（金）	19:00	～	20:30
2.会場	オンライン（ZOOM）				
3.主催センター	南1　・　南2　・　南3				
4.参加人数	23名				
5.参加者内訳	☑高齢者支援センター　7 人　☑医療と介護の連携支援センター　2 人				
	☑医療関係者　7 人（内、医師・歯科医師　3 人）　☑介護事業者　6 人				
	☐民生委員　人　☐老人会　人　☑住民　人				
	☐町内会自治会　人　☐警察　人　☑行政　1 人				
	☐その他　（　）				
6.開催テーマ	感染症に強い地域をつくる				
7.地域課題	（1）課題設定の背景 2021年度の同テーマにおける会議において、コロナ禍における活動性の低下等による「ADL低下・認知症の進行」という課題に対し、「情報共有」「交流の場の確保」が重要との結論を得た。 （2）検討した地域課題 「感染症に強い地域をつくる」上で重要と位置付けた「情報共有」「交流の場の確保」をテーマにして、地域関係機関と協働し、具体的な活動実施を行う。				
8.会議の内容	【第4回（最終回）】 ・開会あいさつ ・主旨説明 　①本会議の足跡 　②紙面「みなみ情報便」創刊号の発表 　③専門職間の情報連携ネットワーク構築とその運用指針の説明 ・コアメンバーよりコメント 　①本地域ケア推進会議について 　②情報連携ネットワーク等について、自機関にてできること ・まとめ ・閉会あいさつ				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	同テーマで3年にわたり地域ケア推進会議を開催する中で、コロナ禍において顕在化した地域住民の出控え等によるADL低下や認知症の進行という課題を抽出し、それに対し各専門職が持つ有益な情報を地域住民へ提供することで、感染症流行下でも地域住民の心身機能維持を図るための取り組みを検討してきた。 今年度の地域ケア推進会議では専門職間の意見交換と情報共有のため、会議参加者をコアメンバーとしてネットワーク構築を行い、そこで集約した情報を「みなみ情報便」として各機関、また、地域の掲示板を活用し地域住民へ提供する仕組みを創出した。 今後の取り組み継続のため、コアメンバーから有志を募り運営体制の強化を図る。				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日	12月　28日